

レタス収穫体験（シンカプロジェクト事業）

瀬良垣のレタス栽培実証圃場において、恩納中学校1年生と米軍施設内の子供達による「レタス定植・収穫体験」を行いました。

定植では、農家の遠藤喜幸さん（川上村）指導のもと行われ、収穫体験では、地元産の新鮮シャキシャキレタスを直接畑で体験し、農業の楽しさを感じていただきました。



シンカプロジェクトとは

友好姉妹村である長野県川上村より、レタス・その他野菜の栽培技術指導を受け、恩納村で産地化を目指す。シンカプロジェクトの“シンカ”とは沖縄の方言で【仲間】を意味する“シンカヌチャー”から由来しています。

「サンゴの村宣言」プロジェクト ～世界一サンゴにやさしい村～⑦

サンゴの絵本を作ろう

サンゴの村宣言プロジェクトの一環として村文化情報センターでは、サンゴに関する絵本作成講座を行い、大賞作品が決定しました。

講座は3ヶ月間で全6回行い、大人から子どもまで個性豊かな15の作品が完成しました。



名前：Sunnaちゃん



参加者の皆さん

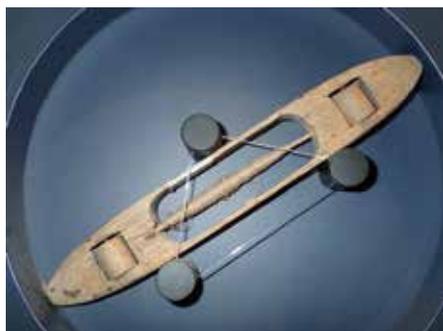
【大賞作品】



『サンゴのしま』
吉山佳子

厳正な審査のもと、村内在住の吉山佳子さんの『サンゴのしま』が大賞作品となりました。作品は絵本として出版され、7月のうんまつりにてお披露目する予定です。その他の作品も今後おはなし会やイベント等で広く活用いたします。

恩納100 むらのきおく その九十一



機織りの杼(ひ)

昔の着物の材料には、芭蕉や木綿、蚕のまゆ（絹）などがあり、布を織る際には織機おりばたを使用していました。杼ひは地機じばたや高機たかばたで布を織るときに、経糸たていとの中に緯糸よこいとを通す作業に使います。芭蕉は乾燥に弱くすぐに糸が切れてしまうので、絶えず湿気を与えながら織りました。そのため、5、6月の梅雨の季節は織りやすく、逆に織りにくいのは北風の吹く冬や、1日の中でも太陽が照りつける時間でした。